

# くすりばこ



薬剤部  
佐藤 沙紀

## 90. 市販の風邪薬について

寒さが一層厳しくなり、風邪が流行る季節になりましたね。みなさまは風邪をひいた時に、どうしていますか？ドラッグストアなどで簡単に買うことのできる、市販の風邪薬を使う方も多いのではないでしょうか？

しかし、いざ買おうと思ってもたくさんある風邪薬のなかからどれを選べばいいかわからないですよ。この時期になると、TVをつければ毎日のように風邪薬のCMが流れていて、ドラッグストアには棚いっぱいにならと風邪薬が並びだします。その中から自分に合ったお薬を選ぶことは難しいですよ。そんな時のために少しでも参考になればと思い、今回は市販の風邪薬(総合感冒薬)についてお話したいと思います。

ドラッグストアやコンビニなどで買うことのできるお薬は一般用医薬品と呼ばれています。風邪薬は一般用医薬品の中でも大きな売り上げの割合を占めているので、各製薬会社は挙ってさまざまな種類の風邪薬を売り出しています。そのために風邪薬はたくさんの種類があるのです。

市販の風邪薬は基本的に風邪による症状を改善することを目的としています。風邪を引いた時に出る症状は鼻水が出たり、熱が辛かったり、咳が止まらなかったりとその時々で変わってきます。多くの風邪薬はそれぞれの症状に効く有効成分が何種類か合わさって作られています。例えば、鼻水を止めるクロルフェニラミンという成分と熱を下げるアセトアミノフェンという成分が1つの薬に入っていたりします。そのなかで咳を抑える成分の割合を多くしたり、鼻水を抑える成分をちょっと違うものにしたりと、漢方薬をベースにしてみたりと工夫することでそれぞれの風邪薬の特徴を出しているのです。

今すぐに風邪薬が欲しいけど、どれを買えばいいかわからない！という時には、今どんな風邪の症状なのかを基準にして、それぞれの風邪薬の特徴から選んでもらえればよいと思います。

もし、少しでも時間に余裕があるならば、お店の薬剤師または登録販売員の人に相談してみましよう。「鼻水を止めたいけれど、眠くなりにくいのはどれですか」「とにかく咳を止めたい」など簡単なことでもなんでもよいと思います。専門の資格を持った人がすぐそこにいるのに、利用しないともったいないですよ。きっと要望にあったものを選んでくれることでしょう。もしかすると自分で選ぶよりも早いかもしれません。

最後に、市販の風邪薬を使う上で注意すべき点があります。アレルギー体質の人や普段からお薬を使っている人は、必ず使用する前に医師・薬剤師に相談してください。風邪薬のなかにも使ってはいけない成分が入っていたり、お薬どうして相性が良くないものもあるからです。また、何日間か薬を飲んでも症状が改善しない、もしくは悪化した場合には飲むのを止めてすぐに医療機関に行きましょう。高熱が続く場合にも同様にすぐに医療機関に行きましょう。ただの風邪ではない可能性があるからです。

市販の風邪薬も正しく使って、風邪の季節を上手に乗り切りましょう！

